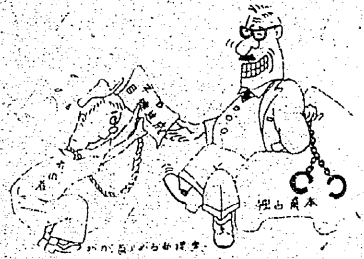


# 職場のこえで 職場新肉を!



秋の訪れと共に、職場新聞の再出発が目立ってきた。その後もスーッとがらりつづけている。きかんしゃ(港務二職場分会、いのち(三川一職場分会)に加え、四山第七職場分会の「坑外」が、

——ともあれ、三池労組の機関紙は固い事ばかりで(痛いな)甚だ取りつきにくいとの声を各所で聞きますので、本年は文化、娯楽面に重点を置き……高層な新聞より粗朴な分会員のナマの声を新聞にしたい。

というわけで、再スタート。見ればその言明の通り、だが描いたものかやうまいマンガでアンゴ教育をやっている芸当にまじりつづきせられ、次にはあくまでも明快で、しかも仲間内での



再び姿をあらわした職場新聞「坑外」。上のマンガはご参考までに……。

にビシヤリと密着した、こまやかな目での取材と記事につづりきせられる。(たゞ二面トップの「せまい」婦人浴場。混雑する朝と帰りの「ま」に、職場新聞のいのちの躍動を感じさせずにはおかない。

きかんしゃ、もういよいよ、仲間の中へ深く食い入ってきた。以上の二つは詰め詰めの興味ある、なぐりきわめたい趣味の楽を忘れず心にいかり。

いのち、もういよいよ、く(そのかげの努力は忘れてならぬが)伸びていて、分会員の時や短歌などの数があててきた。それらと共にマンガなどを引き出せば、もつと素晴らしいだろう。

はるま、(三川坑外職場)は、販制との保安交渉の経過を要領よく伝え、ここにも「魚つりの心得」についてかなりのスペースを割いているが、どれほど愛好者にとって便利だろう。

「あせ」(三川七分会)は仲間死が、単なる死でなく三井の手で殺されたのだと本質解明に力を注いでいる。当然な話。だが論文より、坑外からナマの声をひき出したら、たとえ本質を解明するとしても数段迫力もあり、読ま

## 強めようアンポ宣伝

最後に一言。組合はCO、反合理化、いのちを守る闘いを結合して、七〇年闘争をよりあげてゆく固い覚悟を固めているときだけに、もつともその方向にむかって闘いを力強くすすめる宣伝がほしい、ということ。坑外は「絵で見るアンポ」の題で、ズバリ安保の本質をついている。学がべきではないだろうか。

「きかんしゃ」から

▼あるのかないのか、わからぬところに、核の核たるゆえんがある、ふって見えた佐藤首相。

## 歯が溶けてしまおう

一日も早く販売を禁止せよ

恐るべきコカコーラ

現在日生協(日本生活協同組合協議会)の運動の中で、問題になっているのが例のコカコーラ。

去る六十一回国会で、氏部文代議士(社会党)によって、その恐ろしい本質がバクローされた。

コカコーラ一〇〇ミリリットル中に含まれる成分は、次の通り。

アルコール 〇・二四グラム  
砂糖 五九・八〇  
還元糖 三九・〇〇  
燐 酸 〇・五五

とても雄大な。

ほくたは夕やけを見るときむねがわくわくする。

かなしみも

いやなことも

勉強のことも

夕やけを見ていると

みんなふきとんでいってしまふ。

そしてほくたは

自信と勇氣が

わいてくる。

ほくたはほくたに

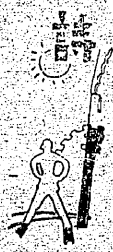
夕やけはいいなあ

と思った。

## 遺族の詩とうた

### 小石スエノさんの作品

スエノさんが、夫の小石明さんをおくられてから早くも一年が過ぎました。さういってお元気で過ごされていますが、スエノさんはその後夫明さんに対する切実な思いをこめて、詩やうたをおくられています。その中のいくつかを紹介し、改めて小石さんの遺族を心からお祈り申あげたいと思います。



ついでにゆきたい  
お浄土へ

流れゆく  
くらの波間をゆながら  
あなたのたまを乗せた舟  
ついでにゆきたい  
お浄土へ



友の背には涙が  
押す手は手に力が  
まきの男の純情が  
わかつたで

ふじに  
ふじに  
ふじに

わかつたでようおとうさん  
み光り  
無限に浄土へふりそぎ  
花の浄土を目指す舟よ  
嵐よ吹くな波立つな  
せめて  
せめて旅路が終るまで

この詩は、今年小石さんの初盆の折りにできたのだそうです。

### 平野シヤ子さんの作品

追憶はいつも惨事に怒り湧く  
流れ作業重労働を主夫に云い  
今もなお亡夫惨殺を憶ひ日々  
なに故に遺族にいくも重労働  
亡夫のうめく声によく似たミシン音

立ち仕事悲境に耐ゆる日々疲れ  
遺族せず語る仲間遺族だけ  
生活のプランくする遺族達  
ホーム検査白く汚れて笑ひ合ひ  
アルバムに幸せだった日を懐ひ

平野さんは今、三池縫製工場に  
働いている遺族の一人です。

## 夕やけ 児童詩

小学5年 平田克幸 合作  
小学1年 平田庸一

夕やけは  
夕やけは  
夕やけは

### からす曲り

宮浦 平田光男

モータリに熱い  
ぶつ倒れそう  
こは、近代化を誇る  
三池炭鉱  
払い炭の切羽  
水のひとがけがびびりどろ  
す。もともと本紙は、文学教科書  
ではないのです。かんはって



名ばかりの松炭炭工  
いつもいつも  
貧乏神が  
会所に住みついたまま  
離れず  
母ちゃんの側に安心して  
寝ていても  
寝返りうてはからす曲り  
一パイの焼酎も  
からす曲りにはサッパリ  
こたえん